

2022年7月号：人数が過去最多を64人更新、計635人 2022年3月期決算上場企業

【2022年7月号の内容】

- 1) 人数が過去最多を64人更新、計635人 2022年3月期決算上場企業
- 2) 宿泊業の売上高、コロナ前の半分に 今後は観光再開も人手不足が懸念
- 3) 2021年の新設法人数、苦境の飲食店が過去最多の不思議
- 4) マイナス影響は業種により濃淡 自動車部品、繊維、半導体関連90%台に
- 5) 法隆寺だけじゃないクラウドファンディング
- 6) 虫歯はチーズで予防できる！WHO報告書で「エビデンスはほぼ確実」
- 7) 「2022年度版スマートライフおすすめBOOK」が完成

当グループは地元大阪のサッカーチーム「FC大阪」様を応援しています。

「FC大阪」様の7月開催予定のホームゲームに無料でご招待！

<https://forms.gle/uAWZYHEtdNgGzWLp9>

※詳しくは上記URLのフォームにアクセスしてご確認ください



【1】人数が過去最多を64人更新、計635人 2022年3月期決算上場企業

.....

2022年3月期決算の有価証券報告書を提出した企業は、6月30日17時までで2344社。

このうち、役員報酬1億円以上を個別開示した企業は273社（前年253社）。人数は635人（同544人）と、2019年の571人を超え、最多を記録した。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220630_03.html

※外部サイトとなります。

【2】宿泊業の売上高、コロナ前の半分に 今後は観光再開も人手不足が懸念

.....

国内の宿泊業4983社の2021年決算（1月-12月期）の売上高合計は

2兆1813億8600万円で、2020年（3兆3509億6,100万円）と比べ34.9%減（1兆1695億7500万円減）と3割以上の大幅減収だった。

コロナ前の2019年（4兆27億7600万円）と比べると約半分（45.5%）が

消失したことがわかった。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220630_02.html

※外部サイトとなります。

【3】2021年の新設法人数、苦境の飲食店が過去最多の不思議

.....

コロナ禍で多くの飲食店が苦境に陥るなか、2021年の飲食店の新設法人数（個人企業除く）は7,810社と2012年以降、最多を記録した。新設された法人を確認すると一部は店舗がオープンしていることが確認されたが、多くは設立されたものの、コロナ禍の動向の様子見しているようだ。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220627_01.html

※外部サイトとなります。

【4】マイナス影響は業種により濃淡 自動車部品、繊維、半導体関連 90%台に

.....

6月1日、2カ月以上にわたる中国・上海のロックダウンが解除された。

しかし、余波は国内企業に広がっている。

東京商エリサーチ（TSR）はロックダウン解除直後の6月1日～9日にかけて、「上海ロックダウン」についてアンケート調査を実施した。それによると、マイナスの影響が「継続している」と回答した企業は44.9%に達した。

また、マイナスの影響が「出たが収束した」は2.7%、

「今後出る可能性がある」は18.6%で、合計66.3%が「マイナスの影響」について言及した。

■詳しくはこちら

https://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20220624_01.html

※外部サイトとなります。

【5】法隆寺だけじゃないクラウドファンディング

.....

世界遺産の法隆寺が、クラウドファンディング（CF）で支援を募っている。
新型コロナウイルス禍の影響で拝観者数が減り、財政難に陥ったためだ。
集めたお金は、境内設備や宝物類の維持管理に使う。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12320-1692847/>

※外部サイトとなります。

【6】虫歯はチーズで予防できる！WHO 報告書で「エビデンスはほぼ確実」

.....

ワインなどお酒のつまみにぴったりのチーズ。このチーズが虫歯予防に役立つという。WHO はすでに 2003 年、虫歯リスクを軽減する食品の最上位にチーズを挙げている。「チーズは虫歯予防の最強食品」の著者である稲葉大輔歯科医師（岩手医科大学解剖学講座/盛岡大学栄養科学部）に詳しく聞いた。

■詳しくはこちら

<https://news.nifty.com/article/item/neta/12315-1702869/>

※外部サイトとなります。

【7】「2022 年度版スマートライフおすすめ BOOK」が完成

.....

一般財団法人家電製品協会と環境省の連携により、
脱炭素社会に向けた取組例などを掲載した
「2022 年度版スマートライフおすすめ BOOK」が完成しました。
創エネ・蓄エネ・省エネを組み合わせ、
エネルギーをムダなく効率的に利用する生活が「スマートライフ」です。
私たち一人ひとりにできることから行動を始めてみましょう。

■詳しくはこちら

https://shouene-kaden2.net/recommend_book/

※外部サイトとなります。

※本メールは EST Group のサービスをご利用いただいた方にお送りしています。
※今後 EST Group からのご案内が不要の場合、ご連絡ください。
※記載された内容は予告することなく変更される場合があります。

EST Group 株式会社

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 1-14

(C) EST Group. All rights reserved.